

入場無料  
定員 300名

2024.

10/24(木)

13:30~16:00(開場13:00)

会場:北見芸術文化ホール 中ホール  
北海道北見市泉町1丁目3-22

北海道総合開発計画は、北海道の資源や特性を活かして、その時々々の国の課題解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るため国が策定する計画です。

令和6年4月にスタートした「第9期北海道総合開発計画」では、北海道が持つ「食・観光・再生可能エネルギー」などの価値を生み出す「生産空間※」の定住環境が維持・発展していくことを目標の一つに掲げており、地方部での豊かな営みが、北海道、そして日本の価値へと繋がっていくことを目指しています。

網走開発建設部では、地域づくりに最前線で取り組む方々や地域のこれからを担う高校生・大学生と共に、若い世代の目線を通して、オホーツク地域で豊かな生活を送るために「ジブン」ができることを考える機会として、シンポジウムを開催します。

※「生産空間」とは、農林水産・観光に係る場のことです。

# 『オホーツクの未来を共に創る』 ～2050年のジブンのために～

## プログラム

13:30~13:35

開会挨拶 (網走開発建設部長 半谷 敬幸)

13:35~13:45

第9期北海道総合開発計画の概要説明 (同上)

13:45~14:10

基調講演「北海道開発の歩みとこれから」  
(国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学  
地域未来デザイン工学科 教授 高橋 清 氏)

14:10~14:25

休憩

14:25~16:00

パネルディスカッション  
「#オホーツクの魅力を語ろう」  
「#オホーツクの未来を考えよう」

16:00

閉会

## パネルディスカッション

### ●コーディネーター

高橋 清 氏  
(北見工業大学 地域未来デザイン工学科 教授)

### ●パネリスト(五十音順)

・内島 典子 氏  
(北見工業大学 社会連携推進センター センター長・教授)  
・河本 真由子 氏  
(観光と自転車と 代表/ピポロアイヌ文化協会 会長)  
・軍司 昇 氏  
(Connectrip 会長/流氷硝子館 工房長)  
・中西 拓郎 氏  
(一般社団法人ドット道東 代表理事)

### ●地域課題発表

・北見工業大学  
・北見北斗高等学校

※出演者情報については裏面ご参照

地域の学生が  
参加します

## 【基調講演講師、パネルディスカッションコーディネーター】



高橋 清(たかはし きよし)氏  
(国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学 地域未来デザイン工学科 教授)

当別町出身。工学博士。北海道大学工学部助手、東京大学大学院工学系研究科助教授、タイ・アジア工科大学院助教授、北見工業大学土木開発工学科助教授などを経て、2011年より現職。専門は交通政策、防災計画、物流政策など。国土審議会北海道開発分科会計画部会委員として第9期北海道総合開発計画の策定に携わる。

## 【パネルディスカッションパネリスト】(五十音順)



内島 典子(うちじま ふみこ)氏  
(国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学 社会連携推進センター センター長・教授)

北見市出身。博士(工学)。2003年から北見工業大学産学官連携コーディネーターとして活動、2024年4月から現職。産学官連携、技術アウトリーチ(※)を専門とし、北見工業大学のプレゼンス向上に向けた活動を推進している。オホーツク地域が有する自然環境を活かし、様々な地域振興の活動に取り組むことの価値は非常に大きいと感じている。(※学外との双方向的なコミュニケーション活動)



河本 真由子(かわもと まゆこ)氏  
(観光と自転車と 代表/ピポロアイヌ文化協会 会長)

美幌町出身。観光や服飾の業界を経てUターン、美幌町初の地域おこし協力隊に就任。ひがし北海道をフィールドに国内外の企業の研修旅行やツアーのコーディネート、美幌町産の木材のプロダクトの開発、歩く速度で地元を再発見する「びほろロゲイング」、ファットバイク×クロスカントリースキーの「スノーテュアスロン北海道」のイベントの企画運営等を行う。



軍司 昇(くんじ のぼる)氏  
(オホーツク農山漁村活用体験型ツーリズム推進協議会(Connectrip) 会長/流氷硝子館 工房長)

網走市出身。北海道工業大学進学後、ガラス工芸を学ぶため上京。沖縄での修行を経てUターン後、廃蛍光灯リサイクルガラス原料でガラス工芸品を制作する流氷硝子館を開業。温暖化による影響で流氷をなくさないため、環境負荷を抑えた方法で制作し、オホーツクの流氷や雪などの自然をガラスで表現するガラス職人。2019年7月に、オホーツクの産業や歴史を様々なアクティビティを通して体験できるConnectripを設立し、カヤックガイドも担当。



中西 拓郎(なかにし たくろう)氏  
(一般社団法人ドット道東 代表理事)

北見市出身。2012年にUターン後、フリーランスとしてローカルメディア運営・編集・プロデュースなど幅広く道東を繋ぐ仕事を手掛ける。2019年5月、「理想を実現できる道東にする」をビジョンに掲げ、道東地域を拠点に活動するソーシャルベンチャー・一般社団法人ドット道東を設立、現職。

## 【地域課題発表校(学校紹介)】



### 国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学

日本の国立大学としては最北に位置し、寒冷地の産業を支える人材の育成を行う。寒冷地の環境に適した技術研究や、一次産業を基盤とするオホーツク地域に立地する唯一の工業大学としての強みを最大限に生かした教育を実施している。



### 北海道北見北斗高等学校

平成29年から文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業」に指定され、将来の国際的な科学技術人材を育成するための先進的な理数教育を実施する高等学校。学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験等を通じた体験的・問題解決的な学習等を行う。

### 申込方法

シンポジウムへの参加を希望される方は、QRコード又はURLからお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/SRBRL1mHMZ>

申込締切: 令和6年10月17日(木)17時

※お申し込み時の個人情報は、受付を円滑に行うためのものであり、その他の目的に使用することはありません。

【お問合せ先】

網走開発建設部地域連携課

0152-44-6851 (土日・祝日を除く8:30~17:15)



※当日は、質疑応答ツール「Live Q (ライブキュー)」を活用して、会場にお越しの皆様から意見や質問を受け付けます。登壇者と共に「自分事」として考えていただく機会を提供します。(ご自分のスマートフォンからの利用となります。)

会場ロビーにて9期計画(北海道開発局)、北海道総合計画(北海道庁)などのパネル展を同時開催